

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 21 陣の記録

テーマ：若手ジャーナリスト交流，対象国：インドネシア

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、インドネシアよりメディア関係者 11 名が、2020 年 2 月 4 日～2 月 11 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、「若手ジャーナリスト交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、東京都で在京インドネシア大使館を表敬訪問し、国会議事堂、フォーリン・プレスセンター等を視察しました。更に、福島県では、地元メディアや環境創造センター等に加え、東日本大震災からの環境回復や創造に向けた取り組みを視察し、メディアや報道等を通し迅速に重要な情報を伝える任務の大切さを学びました。その後、ホームステイや交流会を通して日本の理解を深めました。一行はプログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

2. 日程

2 月 4 日（火） 【来日】

【オリエンテーション】

【講義】 ASEAN 事務局

【視察】国会議事堂

2 月 5 日（水） 【視察】テレビ東京

【表敬】在京インドネシア大使館

東京都から福島県へ移動

2 月 6 日（木） 【表敬・ブリーフ】福島県庁（広報・復興関連）

【視察・交流】福島民報社

【視察】コミュタン福島 福島県環境創造センター

【視察】福島県農業総合センター

2 月 7 日（金） 【視察】Jビレッジ（東京オリンピック・パラリンピック関連）

【視察】福島県立ふたば未来学園

【視察】いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館

【視察】ワンダーファーム

2月8日(土) 【視察】鶴ヶ城
【ホームステイ】入村式

2月9日(日) 【ホームステイ】離村式
福島県から東京都へ移動

2月10日(月) 【ワークショップ】
【視察】フォーリン・プレスセンター
【報告会】

2月11日(火) 【離日】

3. プログラム記録写真

	
<p>2月4日【視察】 国会議事堂</p>	<p>2月5日【視察】 テレビ東京</p>
	
<p>2月5日【表敬】 在京インドネシア大使館</p>	<p>2月6日【視察】 【視察・交流】福島民報社</p>



2月7日【視察】
福島県立ふたば未来学園



2月7日【視察】
ワンダーファーム



2月8日【視察】
鶴ヶ城



2月9日【ホームステイ】
離村式



2月10日【視察】
フォーリン・プレスセンター



2月10日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 学生

福島で起こった大地震・災害，そして日本がどのように復興したかについて，政府，関係団体，実際の被害住民（懸命に生きようとしている人々）から直接，話を聞くことができた事は貴重な体験でした。特に，印象的だったのは，震災・津波による被害を受けた場所が現在，どのように復興しているか現地を視察でき，困難にも負けない姿勢に感動しました。

◆ 学生

民家でホームステイをしたことが一番印象的で，貴重な経験となりました。日本人の日常生活について直接知ることができました。皆，とても温かく，礼儀正しかったので嬉しかったです。日本文化にふれたことは，さらに自分の視野が広がったと感じた。短い滞在だったので，機会があれば，また，いつか日本を訪れたいです。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察関係者

実際に被災した現場に足を運んでいただき，震災体験者の話を聞いていただいたことで，被害の大きさに驚いたことと思います。同時に，復興に向けて着実に進んでいる現状もご理解いただいたと思います。皆様はメディア関係の方ということなので，福島の頑張っている姿をインドネシアの方々伝えていただきたいと思います。（いわき市地域防災交流センター）



◆ ホームステイ関係者

料理を作るなど家のお手伝いをしたいと言う方，日本人の家庭がどういうものか知りたいと質問する方など，皆さん積極的に各家庭に溶け込もうとしている姿が見られ，とてもうれしく思いました。お別れの際には参加者からも，受け入れ家庭からももっと長くいたいという声が聞かれ，今回の経験が印象深いものになっていただいたと思います。雪に触れる機会もできて皆さん非常に喜んでいました。是非また来て頂きたいです。（南会津町）

6. 参加者の対外発信

 <p>Instagram post showing a group of people posing in front of a large white castle (Himeji Castle) covered in snow. The post has 50 likes and is dated February 8th.</p>	 <p>Instagram post showing three people (two women and one man) posing indoors, smiling and making peace signs. The post has 125 likes and is dated February 9th.</p>
<p>福島県・鶴ヶ城より発信：雪に覆われた鶴ヶ城を訪れる。(Instagram)</p>	<p>ホームステイより発信：お別れの時、とても悲しくて泣いてしまった。(Instagram)</p>
 <p>Instagram post showing a group of people holding certificates and a banner that says "JENESYS 2019". The caption reads: "Sayonara.. Arigatougozaimasu.. #jepang #jenesys2019 #asean #jtb". The post has 25 likes.</p>	 <p>News article from Media Permata Online titled "10 pelajar berlepas ke Jepun - Media Permata Online". The image shows a group of people standing in front of a building, holding a large Indonesian flag.</p>
<p>Jenesys2019 報告会の様子を発信：最後に全員で記念撮影，さようなら，ありがとうございます！（Instagram）</p>	<p>インドネシア新聞社が日本へ出発時に発信：10人のジャーナリスト・学生が日本へ出発（HPと新聞）</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

 <p>Current actions</p> <p>Have published several articles as in online sites and newspaper as could be observed as below:</p>	 <p>ACTION PLAN</p> <p>SOCIAL MEDIA Social Culture & Tourism</p> <p>MASS MEDIA</p>
<p>アクション・プランの発表①</p> <p>オンラインサイトや新聞上で記事にして発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア及びメディアプラットフォームを通し、情報発信。 ・ソーシャルメディア上に個人的な印象や感想、経験を投稿する。 ・2011年の大地震・災害の後、福島がどのように復興をしているか、友達や家族に話し、体験を共有する。 	<p>アクション・プランの発表②</p> <p>ソーシャルメディア（Facebook, Instagram, twitter）やマスメディア（新聞、放送）に投稿する。</p>
<p>ACTION PLAN</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Disaster-related : how Fukushima can re-build the livelihood, how to educate people about disaster can be so interactive and fun. ■ Olympic-related : preparation of Olympic 2020 (stadium, J-Village, sport as a soft diplomacy), how to prepare the athletes from high-school level. ■ Tourism-related : <u>Shinkansen</u> first-timer, strolling around <u>Tsuruga-jo</u> castle, Japanese traditional living, winter tourism (ski) <p>This will be publish in the form of news, on our media platform (Metro TV, <u>Harian Kompas</u>, <u>Koran Sindo</u>) in Sport, Lifestyle, Travel, Science section, and 3 to 5 minutes news-package in feature-style program; within a month after returning back to Indonesia.</p>	
<p>アクション・プランの発表③</p> <p>帰国し、1ヶ月以内にとすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、ライフスタイル、旅行、科学分野、又、3分から5分の短いニュース特番の番組を発信する。 ・災害関連・オリンピック関連・旅行関連について発信 	

事業実施団体：株式会社JTB